

P-51 MUSTANG

INSTRUCTION MANUAL



P51 マスティング 取り扱い説明書

Specifications:

Wingspan:	16.9 in. (430mm)
Length:	15.0 in. (380mm)
Wing Area:	49.6 in.² (3.2dm²)
Weight:	1.7 oz. (55g)



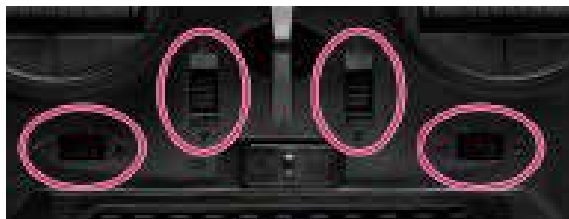
3軸ジャイロ飛行機シリーズ 説明書

重要補足説明

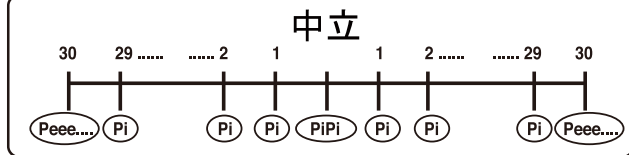
■3Gジャイロシステムはスティックが中立付近でジャイロ制御が最大になります。その為に送信機トリムが中立から大きく移動した状態ではジャイロの初期化が正常にできなくバインドが完了しません。上記の症状が発生した時は送信機のトリムを全て中立にして再度バインドを行ってください。

※環境によりバインド完了まで10秒ほどかかる場合がございます
(本製品は毎回電源をONする度にバインドする方式です)

※全てのトリムを中立にしてください。
(中立ではブザー音がピピっとなります。)



▶ 図を参考にトリム調整の位置は送信機からの音で確認します。



飛行前に送信機のトリムが中立の時にエルロン、エレベーター、ラダーの舵が水平・垂直近くになっているか確認してください。もし舵が大きくズれている場合はピアノ線のロッドの湾曲部分を伸縮調整して舵が中立に近づくようにロッドを調整してください。送信機の各トリムで中立から左右(上下)3~4ステップ以内に収まるようにロッドを調整してください。

湾曲部拡大図



※調整時はロッドを折らないように
気を付けてください。

**安全のための注意・警告（必ずお読みください）**

警告

リチウムポリマーバッテリー取扱い上の注意点

- バッテリーの過放電に注意してください。リポバッテリーは性質上、電池の容量を使いすぎるとバッテリーにダメージを与え使用できなくなります。パワーが低下したら直ぐに飛行を中止し再度充電するまで使用しないでください。
- バッテリーを再度充電する場合は必ず30分以上は休ませてバッテリーが冷えていることを確認します。製品を使用しない時は送信機と機体のバッテリーを外してください。
- バッテリーを満充電状態で保管しないでください。長期間保管する場合は一度充電した後1に2〜3分程モーターを回し、少し放電してから保管するようにしてください。
- 高温多湿の環境でのバッテリーの充電・保管はダメージを与えますので避けてください。
- 膨らみ・変形・損傷のあるバッテリーは使用しないでください。
- 電池が使用できなくなった場合はリサイクル協力店の指示に従い処理してください。リポバッテリーは約二日間、5%程に薄めた食塩水に浸すことで完全に放電します。破棄する場合はお住まいの自治体の処理方法に従い破棄してください。



注意

製品取扱い上の注意点

- 本製品は軽量化の為、翼の材質にはスチレンボードを採用しております。必要最低限の強度しかありませんので取り扱いには十分に注意してください。簡易修理にはエポキシ系接着剤が有効です、重量が増加しないよう十分注意してください。
- ブレード(プロペラ)は高速で回転しますので触れないように十分注意してください。
- フライト中、操作が分からなくなったり、障害物に接触しそうな場合は慌てず直ぐにスロットルスティックを下げモーターパワーをOFFにしてください。プロペラが物に接触しモーターに負荷が掛かり続けるとモーターや電子基板が故障する可能性があります。
- フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。・モーターやプロペラの取り付け送信機及び機体のバッテリー状態・各舵の動作状況・無線機のチェック等。
- 飛行後のモーターは高温になっています。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なってください。
- RC製品は精密機器です。故障の原因となりますので埃や湿気は避け高温になる場所では保管しないでください。
- 機体の汚れを拭く際は市販の洗浄液を使用すると本体や塗装面にダメージを与えてしまう可能性がありますので、汚れが酷い場合は柔らかい布を少し水で濡らして拭いてください。
- 本機体は初級者向けの機体ですが、RC製品のご経験のない方は予め経験のあるフライヤーや販売店の指導を仰いでください。
- 本製品の対象年齢は15歳以上です。小さなお子様が使用しないように十分注意してください。

内容物一覧



注意

飛行前に本体や付属品に破損や欠品がないことを確認してください。



- ① 本体セット(完成済み胴体・主翼・前輪) ② 2.4GHz 専用送信機
 ③ 予備プロペラ ④ 3.7V-200mAh飛行用リチウムポリマーバッテリー
 ※単三アルカリ乾電池別途4本必要です。

機体概要

① 垂直尾翼

② ラダー

③ 水平尾翼

④ エレベーター

⑤ エレベーターロッド

⑥ ラダーロッド

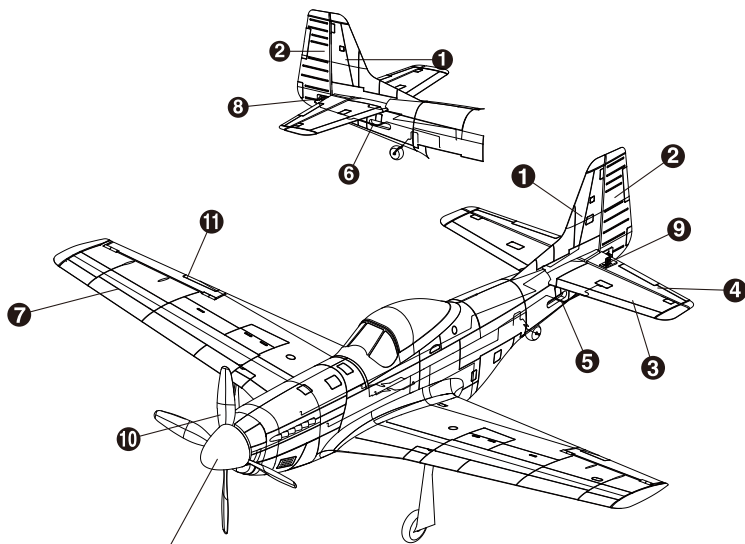
⑦ 主翼

⑧ ラダーホーン

⑨ エレベーターホーン

⑩ プロペラ

⑪ エルロン

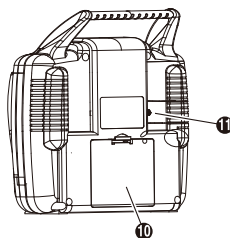
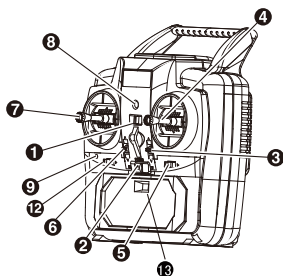


※小型RC飛行機はモーターの反トルクの影響を顕著に受けその癖を取る為に予めモーターが斜めに固定されていることがあります。(機体の形状により取り付け角度は異なります)。

送信機概要



本製品は付属の送信機でのみ正常動作します。
その他の送信機はご利用になれません。



① モード切り替えスイッチ

② 電源スイッチ

③ スロットルトリム

※モード2ではエレベータートリムです。

④ スロットル/エルロン スティック

※モード2ではエルロン/エレベータースティックです。

⑤ エルロントリム

⑥ エレベータートリム

※モード2ではスロットルトリムです。

⑦ エレベーター/ラダー スティック

※モード2ではスロットル/ラダー スティックです。

⑧ バッテリー残量メーター

⑨ 充電ランプ

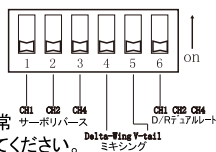
⑩ バッテリーカバー

⑪ 充電用ターミナルカバー

⑫ ラダートリム

⑬ ディップスイッチ

※ディップスイッチの設定は
付属の機体に合わせ工場出荷時に完了しております。通常
は設定を変更しないようにしてください。

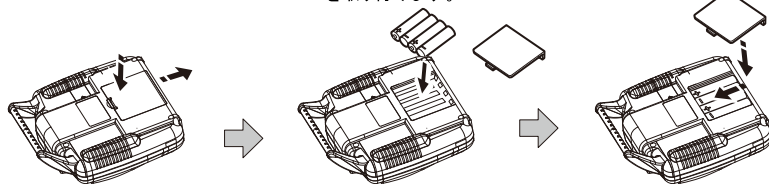


飛行準備

電池の取り付け

・バッテリーカバーを取り外します。

・十のマークに合わせバッテリー
を取り付けます。



単三アルカリ乾電池 × 4



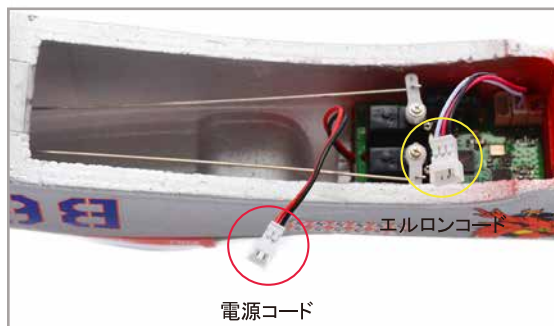
注意

- 乾電池を取り付ける際は種類の異なる物や新しい物と古いものがある場合、混ぜて使用しないでください。
- 安全のため、電圧が1.5Vに満たない充電式の乾電池などは使用しないでください。

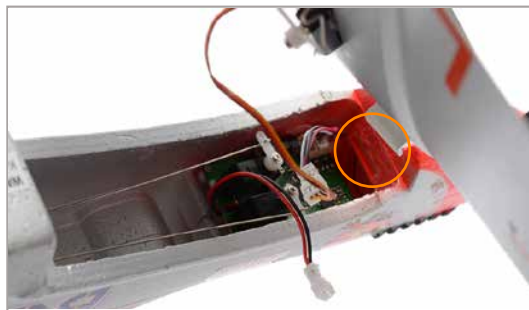
飛行準備

機体の組み立て

1. コード名称



2. 主翼の取り付け



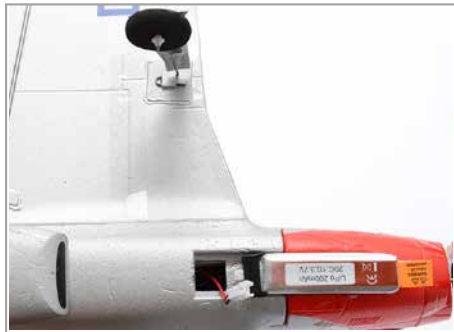
- ・エルロンコードをコネクターの溝に合わせて正しく接続します。
- ・胴体の溝に主翼の爪を差し込み固定します。この時コードを挟まないように注意してマグネットで主翼がしっかりと固定されている事を確認してください。
- ・電源コードは主翼を差し込むときに主翼の穴に通します。

3. 前輪の取り付け



- ・図を参考に前輪を取り付けます。

4. バッテリーの取り付け



- ・図を参考にバッテリーを取り付けます。

飛行準備

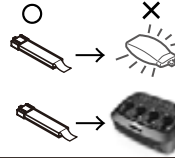
リポバッテリーの充電



ページ2を再度ご確認の上バッテリーの取扱いは十分に注意してください。

リポバッテリーは**過放電**に十分に注意してください。また、図のように大きく膨らんでしまったバッテリーは使用しないでください。

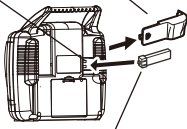
充電には付属の送信機またはマイクロバッテリーチャージャーなどの専用品をご使用ください。



[マイクロバッテリーチャージャー]
定価: ¥6,500(税抜)
商品コード: 44212

A 充電ソケット

A バッテリーカバー



A バッテリー

1

A バッテリーカバーを外し、向きに注意しながらソケットにバッテリーを差し込みます。

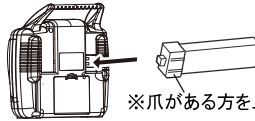
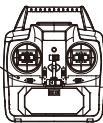
2

B 送信機の充電ソケットにバッテリーを差し込むと充電ランプが点灯し充電が開始されます。充電時間はおよそ60～70分です。
(充電時間はバッテリーの状態により異なります。)

3

B 充電ランプが消灯すると充電が完了したことを示します。

充電ランプ



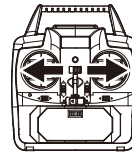
※爪がある方を上にして差し込みます、逆接には十分注意してください。

- ▶ 送信機の乾電池の残量が不足したときは充電することができません。(充電できない場合は電池を交換してみてください。)
- ▶ 充電が完了した時はバッテリーを送信機から取り外します。
- ▶ 内蔵の充電器はバッテリーに十分な容量が残っている場合、安全上、充電がスタートしません。

■送信機スイッチ

1 モード切替スイッチ

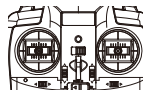
- ▶ モード切替スイッチを左右に押すことでモード1/2に切り替え可能です。



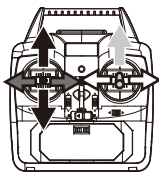
1 左右のスティックをニュートラル(中立)にします。



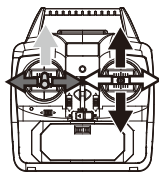
2 選択したモードの方向にしっかりとスイッチを入れます。



▶ 各モードスティック説明



モード1



モード2

↑ スロットル

↑ エレベーター
↓

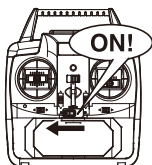
← → エルロン

← → ラダー

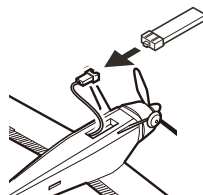
飛行準備

2 電源操作

- ① 送信機の各トリムを中立位置にしてスロットルスティックを一番下に下げ、他のスティックは中立位置のまま触れない状態で電源をONにします。

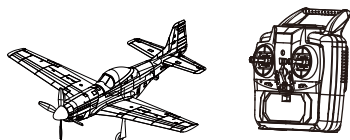


- ② バッテリーを接続し機体の電源を入れます。



※逆接しないように十分注意してください。

- ③ 本製品には3軸ジャイロが搭載されておりますのでバッテリーを接続したら機体を水平な場所に置きバインドが完了するまで10秒ほど待ちます。



※バインドが完了するまで機体を動かさないようにしてください。

※バインドする際はWi-Fiや他の送信機が出来るだけ少ない場所で行ってください。他の2.4GHz電波が多い環境ではバインドに時間が掛かり正常にバインドできない場合があります。

- ④ その後、機体内部にある受信機のLEDが点滅から点灯になりバインドが完了となります。各舵の正常動作及びジャイロの作動を確認します。

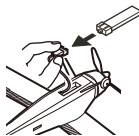
※動作方向が異なる場合は送信機のサーボリバース機能を使用します。



※バインド後に各舵のサーボの動作が不安定な場合、(受信機LEDが点灯でなく点滅)バインドが正常に完了していないので 送信機 ⇒ 機体(受信機)の順で電源を再度ONにしてバインドをやり直してください。



電源を入れる時は必ず送信機から先に入ってください。



機体と送信機の電源を入れる時は必ずスロットルスティックが最スローであることを確認し、不意の操作でプロペラが回らないように注意してください。

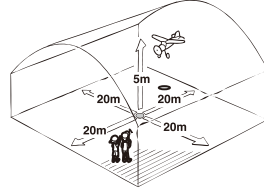
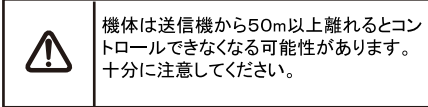


フライトエリア

- 1 ➡ 初めての飛行させる際は人が多い場所は避けラジコンの飛行が禁止されていない広い場所を選択します。
人家や・電線・車両・等が飛行を妨げる環境である場合は飛行しないでください。



- 2 ➡ 図を参考にフライトエリアを確保します。
飛行の際は管理している人の許可を取ってください。



フライト環境

- ➡ 本機体は小型軽量の為、風の影響を大きく受けます。飛行する際は無風もしくは微風(風速1m~2m)の環境で飛行してください。
※強風時や悪天候の時は飛行させないでください。

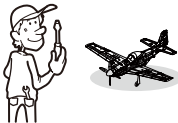


飛行前点検

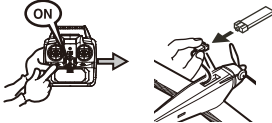
- 1 ➡ 機体の主翼や尾翼が曲がっていたり折れていないことを確認します。



- 2 ➡ プロペラがモーターにしっかりと固定されていることを確認します。



- 3 ➡ プロペラに注意し、送信機の電源を入れた後に機体の電源を入れます。

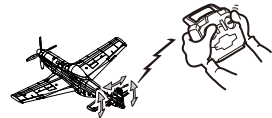


※機体が反応するまで10秒程お待ちください。

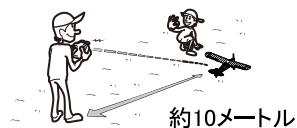
- 4 ➡ スロットルを操作しプロペラが回ることを確認します。



- 5 ➡ スティックを操作し各動翼が動作することを確認します。



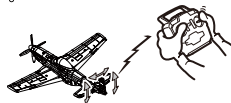
- 6 ➡ 電波チェックの為、機体から10mほど離れ機体が動作することを確認します。



約10メートル

離陸練習

- ▶ 離陸前に再度、各舵が正常に動作していることを確認します。



- ▶ スロットルを全開にして風上に向かって機体を水平に投げます。
※地上からの離陸は出来ません。

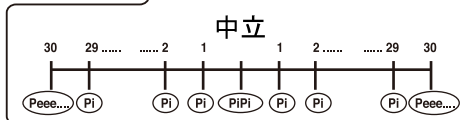


- ▶ 離陸したら急激な上昇はしないでください。図のような角度でゆっくりと機体を上昇させ、安全の為に低空での飛行は避け最低2m程の高さを保ちます。機体の上昇しない場合はバッテリーの残量低下が考えられます、注意してください。

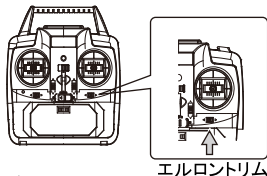
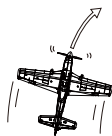
トリム調整

- ▶ 3Gジャイロ搭載機において飛行の癖がある場合は基本的にこのトリム調整ではなくP1を参考にロッドの湾曲部を曲げて調整します。トリムを調整する事は可能ですが始めの説明の通り3Gジャイロはトリム中立で制御が最大となり大きく調整すると電源を切った後、トリムを中立にしなければ再バインドできません。

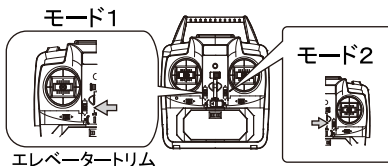
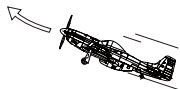
- ▶ 図を参考にトリム調整の位置は送信機からの音で確認します。



- ▶ 機体が右方向に流れてしまう場合はエルロントリムを左方向に押します。



- ▶ 機体が上方向に流れてしまう場合はエレベータートリムを上方向に押します。

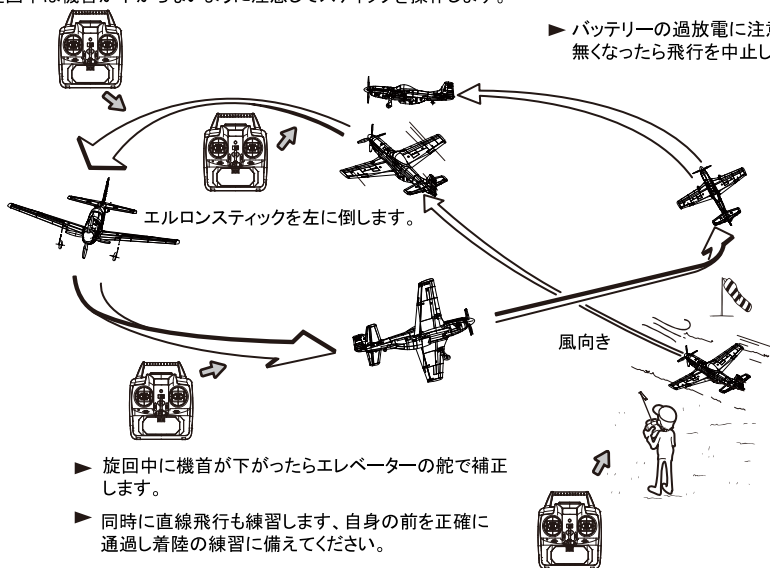


- ▶ 水平飛行時に癖が無くまっすぐに飛行できるように調整します。
※機体は風の影響を受けますので補正舵は必要です。



フライト練習

- ▶ まずは円を描くサークル飛行から始めましょう、図のように一定の高さで円を描けるようになるまで練習してください。
 旋回中は機首が下がらないように注意してスティックを操作します。



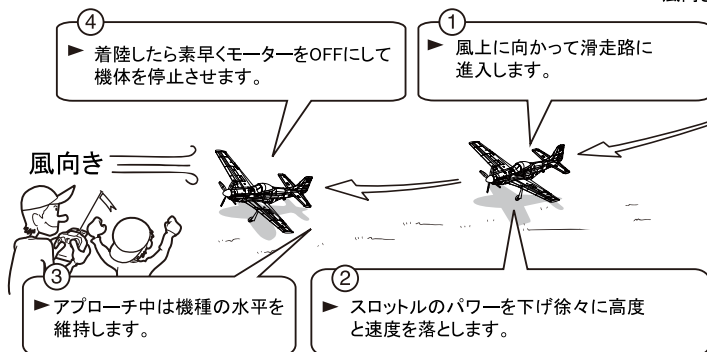
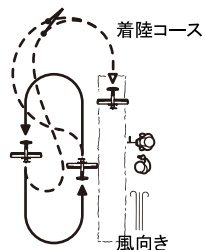
- ▶ 旋回中に機首が下がったらエレベーターの舵で補正します。
 ▶ 同時に直線飛行も練習します、自身の前を正確に通過し着陸の練習に備えてください。

- ▶ スティック操作は慌てずに機体をしっかり見ながらゆっくり操作してください。

着陸練習

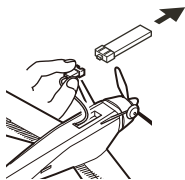
- ▶ モーターのパワーが少なくなったらバッテリーの過放電を避ける為、直ぐに着陸態勢に入ってください。

- ▶ 図を参考に風上に向かって大きく滑走路にアプローチします。
 ※風向きに応じて進入方向を変更してください。



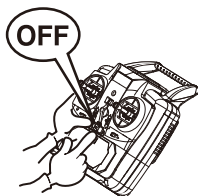
フライト後点検

- ① バッテリーを取り外します。



- ▶ バッテリーを取り外す時はコードを持たずにコネクターの先端を掴み外してください。

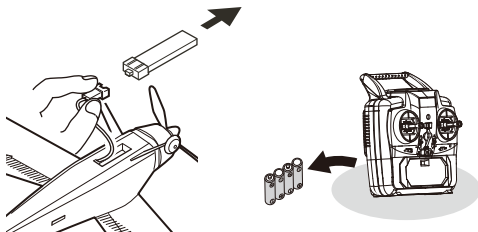
- ② 送信機の電源を切ります。



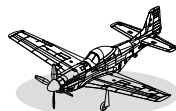
フライト後はモーター、バッテリー共に発熱しています。再度フライトする場合はモーターとバッテリーをよく冷やし、充電を行ってからフライトしてください。

- 1 ◀ ▶ 使用しない時は送信機と機体のバッテリーを外して保管してください。

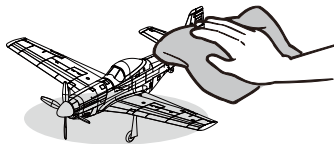
- ▶ バッテリーを満充電または過放電状態で保管しないでください。長期間保管する場合は一度充電した後に2～3分程モーターを回し、少し放電して容量が半分程になるようにしてから保管するようにしてください。



- 2 ◀ ▶ 安全なフライトの為に飛行後は機体や送信機に異常がないか良く確認してください。



- 3 ◀ ▶ RC飛行機は精密機器です。埃や湿気は避け機体を清潔に保ってください。



製品保証

故障かなと思ったら、まずお読みください

この度は弊社製品をご購入頂き誠にありがとうございます。

この製品につきましては、生産工場出荷時にフライトチェック・動作チェックを行っておりますが万一、ご購入直後の動作確認時に不良があった場合やご不明な点があった場合には誠に恐れ入りますが、下記の弊社カスタマーサポートへご連絡頂けますようお願い申し上げます。また、技術的なご質問につきましては「お問い合わせフォーム」にてお願い致します。

(下記電話サポートは大変混雑しておりますため、お問い合わせフォームをご利用頂くほうが早く回答出来る場合があります)

WEEKENDER製品専用カスタマーサポート

電話窓口：050-5519-4989 (平日10:30～12:30・13:30～16:30)

お問い合わせフォーム：<http://hitecrd.co.jp/mailform/>

尚、お客様より弊社へ初期不良品をお送り頂く場合は【ヤマト運輸着払い】にてお送り頂けますようお願い申し上げます。

(※初期不良品以外を着払いでお送り頂いた場合は往復送料¥1400-を申し受けます)

ヤマト運輸へ直接お客様よりご連絡を頂き、集荷のご依頼をお願い致します。各営業店のセールスドライバーがお客様のお宅まで集荷に伺います。また弊社着払い指定をして頂きますとおお客様の費用ご負担はございません。ヤマト運輸サービスセンター 0120-01-9625 または 03-6733-8888 へご連絡を頂ければ集荷手配が可能です。

■初期不良の場合の簡単な流れは以下の通りとなります。

Step1.恐れ入りますがご購入直後に製品の動作確認(マニュアルをご参照ください)をお願い致します。

Step2.万一商品が正常に動かない場合は「お問い合わせフォーム」または「電話」にて弊社へご連絡下さい。

Step3.段ボール等に製品元箱をお入れ頂き、「修理依頼票」を製品元箱上に置いて頂くようお願い致します。

Step4.弊社で製品を確認させて頂き、代替え品・または無償修理の上、お送り差し上げます。

* 下記の場合は初期不良交換致しかねる場合がございます

- ・動作確認(サーボの動きや各部動作)頂かないままフライトし、破損してしまった場合
- ・未開封のまま2週間以上経過してしまった場合
- ・弊社へ事前にご連絡頂かずお送り頂いた場合
- ・欠品がある状態(LiPoバッテリー・充電器等)でお送り頂いた場合
- ・ご購入日付が分かるレシート(コピー)を同封頂いていない場合

■Weekender製品は初期不良品のみ対応となり、修理依頼はお受けしておりません。

■有償新品交換保証

弊社では本製品に関して修理サービスを行っておりませんが、万が一機体を大きく破損してしまった場合は新品交換保証制度に対応しておりますのでこちらをご検討ください。

■壊れても安心、超お得な新品交換保証付き

○何度も遊んでいる内に各所に不具合が出てきた・・・。

○墜落させて機体が大破、新品を買おうかな・・・。

そんな時は一部金額をご負担頂くだけで機体から付属品までを丸ごと新品と交換できる“新品交換保障”をご利用ください。

※新品交換保証の金額につきましては弊社HPをご確認ください。

製品保証

■有償新品交換保証をご依頼頂く場合の流れは以下の通りとなります。

Step1. メモ用紙または宅配便送り状に「新品交換保証希望」とご記入下さい。

Step2. 段ボール等に製品元箱をお入れ頂き梱包をお願い致します。

Step3. 弊社へお客様元払または「ヤマト運輸着払い」（着払いの場合往復¥1400-のご請求となります）にてお送りください。

Step4. 弊社で商品を確認させて頂き、新品をヤマト運輸にてお送り差し上げます。

※有償新品交換保証につきましては混雑状況・弊社在庫状況により1週間～1か月程度でお送り差し上げます。
在庫切れの場合はお客様へご連絡させて頂きます。

初期不良規定

2015年7月9日改定

初期不良について

1. 初期動作不良が認められた場合に適用致します。ご購入より2週間以内に動作確認頂き、サーボやモーターの動作不具合・キャビン・パーツ等の欠損がある場合に無償修理・交換させて頂きます。ご購入時の納品書・レシートのコピーを弊社にて確認できない場合は初期不良を適用できない場合がありますので必ずコピーを添付頂きますようお願いします。
2. フライト後に起きた不具合につきましては原則、不良交換は致しかねます。但し、当社判断により無償対応とさせて頂ける場合もございます。その判断は当社にご一任下さい。
3. いかなる場合におきましても返品はお受け致しかねます。
4. 本製品は生産・出荷時に検査を経てお届けしておりますが、開封後は必ず使用前に各製品付属の取り扱い説明書をご覧頂き、確認を行ってください。万一、この過程において不具合が発見された場合、誠にお手数ではございますがご使用頂かずに弊社カスタマーサポートへご連絡ください。
5. 動作確認時に問題がなく、フライト頂いた後の故障・破損につきましては当製品の性質上、一切の返品・交換は出来ません。また、動作確認時に問題があった場合にフライトを強行されますと、思わぬ事故・破損に繋がります。絶対にフライト頂かず弊社カスタマーサポートへご連絡ください。
6. フライト後のお客様取扱いによる破損・故障については保証致しかねますのでご了承ください。また、部品の消耗や劣化、故障、寿命、性能等についてはお客様使用環境（調整・フライト状態・保管状態など）に関わる部分が大きく、弊社にて特定が困難な要因により機体特性は大きく変化します。このため、使用中に起きた製品の不具合、それに起因する事故・損失等については弊社では一切の責任を負いかねます。そのため弊社ではご利用のお客様には※ラジコン保険（個人賠償責任保険）に加入される事を強く推奨致します。ラジコン保険に関しましては『一般財団法人 日本ラジコン電波安全協会』にお問い合わせください。
7. 純正パーツ以外（バッテリーを含む）を使用した場合や改造・接着剤を使用した補修等により発生した問題や事故について、弊社では一切の責任を負いかねます。

新品交換保証について

1. 新品交換保証お申し込みの際は「機体・送信機・バッテリー・元箱・日本語取扱説明書」が必要となります。機体のみ、または送信機のみでの交換はできません。また、交換に際し、回数の制限はありません。
2. 当社在庫が完了となった時点で「新品交換保証」は受付終了となります。
3. 機種の変更や色の変更はお受け致しかねます。
4. 並行輸入品・パーツは対象となりませんのでご注意ください。

[illegible]



・本製品は品質向上の為、予告なく仕様を変更する場合があります、予めご了承ください。



◎輸入販売元・お問い合わせ

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F
株式会社 ハイテック マルチプレックス ジャパン

サポートダイヤル:050-5519-4989

受付時間:月曜日～金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)
10:30～12:30、13:30～16:30

www.hitecrcd.co.jp

こちらのお問い合わせ先はカスタマーサービス専用ダイヤルとなっております。
お電話でのご注文は承る事ができませんので予めご了承の程お願い致します。